

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和2年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手総合公園外6公園
施設所管課	建設経済部 都市計画課 教育委員会 社会教育課
指定管理者名	幸手ハピネスクリエーション共同事業体
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日（2年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	4	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	4	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	79 100	76 100

総括	指定管理者の自己評価	・コロナウイルスの影響で、利用件数・利用者数・利用料金が大きく減少した。特に4・5月と売上が無く苦しい経営となったが、普段できない施設美化を強化した。業者に依頼し館内を塗装すると高額な修繕費がかかる為、体育館の館内壁面塗装及びひばりヶ丘球場外野フェンス塗装を自社スタッフで行い、臨時休館明け後、利用者に喜んで頂けたことはとても良かったと感じた。営業再開後は施設の周知を行い、高校野球夏季特別大会の開催や、一般利用者を増やす事ができ、昨年度の同月に比べ、利用を増やすことができた。ただ、アルコール消毒や利用者報告書コピー代など管理費が増え、支出が増えた。支出を抑えるための施策として、様々な自主事業を考案し、収支をプラスで終われたことは評価に値するものでないかと考えている。また、園地内の環境は施設の利用状況や天候によって変化するため、日常的に巡回を行うと共に、月1回の定例会を行うことで従業員間の情報共有を図り、適切で効率的な作業を計画・実施できるように取り組んだ。運動施設においては利用者や競技団体の意見・要望を重視し、最適な維持管理業務を行うように調整した。保守点検業務においては関連法規に基づく業務を計画通りに完了した。その他に、火災や地震など緊急時の際に、落ち着いて対応できるように、消防訓練や心肺蘇生法・AED使用の研修を実施。体育館はB&G財団事業に大きくかかわる事から、有資格者による水辺の安全研修など行い、施設への知識向上や理解度向上に努めた。最後に、本年度もB&G財団『特A』評価と『B&GP2020年度PR大賞』でカプトムシイベントが優秀賞を取れたことは非常に嬉しい思い、来年度もスタッフ一丸で業務に取り組んでいきたいと思います。
	施設所管課の評価	・年間を通して適切な管理運営を実施できた。 ・事業収支がプラスに転じたことは、令和元年度と比較して改善できた点だと評価できる。 ・約400近くある自治体の中から、B&G財団『特A』評価(2年連続)と『おもてなしPR大賞』優秀賞(カプトムシイベント)を取得できたことは評価できる。

総合評価	区 分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)